

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network

Now

2025 No.597

9 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2025年度 第3回理事会 開催される (Web併催)



2025年7月19日(土)午後2時より、2025年度第3回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。会議の冒頭に上田会長より開会のあいさつがありました。理事会の主な議題と審議結果は以下の通りです。

「学術大会運営マネージングシステムの追加機能」「補正予算案」「学術大会の開催期間短縮」「慶弔規程改定」「学術大会運営規程の改定案」

学術大会運営マネージングシステム追加機能については、鈴木理事より説明がありました。本システムの導入は、第41回学術大会(福井県)以降も継続して使用することで、コスト削減につながるメリットがあります。上田会長からは、オンデマンド視聴にかかる経費が毎回発生していましたが、今後、JARTシステムとして継続利用していく旨の補足説明がありました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

補正予算案については、江端業務執行理事より説明がありました。情報システムの改修・充実化に伴う当初予算からの増額項目、ワクチン接種研修や甲状腺モニタリング研修など、新たに計上する項目と金額について説明がありましたが、中村監事から物品賃借料の取り扱いについて質問があり、改めて確認することとなりました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

学術大会の開催期間短縮(2日間への短縮化)については、鈴木理事より、事前に各都道府県から聴取した意見に基づいた資料を用いて説明がありました。おおむね賛成意見が多数を占める一方で、検討事項も複数挙がりましたが、期間を短縮することによる会場費や人件費の削減、業務委託費の低減、会員の参加促進などの利点が挙げられ、2027年度の学術大会(福岡県)から実施する旨が説明されました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

慶弔規程改定については、園田理事より説明がありました。2003年から見直されていなかった「日本放射線技師会役員互助規程」は廃止し、現在の慶弔規程に一本化すること、元役員への叙勲祝賀会への対応・費用・適用期間の提案がありました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

学術大会運営規程の改定案については、西小野理事より説明がありました。この改定は、物価上昇や非会員参加登録にかかる経費補填、会員と非会員費用の差別化を明確にすることを目的としています。改定後の参加登録費は、会員当日15,000円、非会員事前22,000円、当日33,000円となります。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

その他の議題として、綱領の英文表記に関する修正、第42回学術大会のポスター、2025年度教育奨励金貸与申請、委員会の委員交代、名誉会員の学術大会への招待、表彰委員会からの答申、新入会者・退会者についても審議され、全て全会一致で承認されました。

報告事項としては、堀住事務局長より会員動向について報告があり、2025年6月末の時点で会員数が3万3,789人、組織率は57.0%であり、例年の同時期より入会者が少ない現状が説明されました。

続いて倫理委員会の武藤理事より、「診療放射線技師の倫理啓発・コンプライアンス意識向上について」の答申に関する説明がありました。これは、本会におけるコンプライアンス意識向上の喫緊の必要性を踏まえ、セミナーや広報活動などを通じた啓発策がまとめられ提案されたものです。具体的な内容は、「コンプライアンス研修の実施」「学術大会・都道府県総会等での注意喚起」「ホームページで本会の倫理啓発に関する取り組み公表」「e-ラーニングを活用する取り組み」でした。上田会長からは答申に対する回答があり、これからの提案された内容を全て実施していくこと、実施に向けて

関係委員会などへ協力要請することが伝えられました。

また上田会長より、「JART Vision 2040 短期目標」の経過報告があり、その後、江端業務執行理事より、ワクチン筋注行為に関するオンデマンド講習および実技講習会の実施、受講に向けた詳細な説明がありました。その他の報告事項と

して各地域理事、各種委員会、分科会から47項目の報告がなされ、資料と共に共有されました。

最後に、園田理事より今後のスケジュールの確認があり、本理事会は閉会しました。詳細は、会誌に掲載される「2025年度第3回理事会議事録(抄)」をご参照ください。

2025年度 都道府県(診療)放射線技師会 地域委員会 (全国地域連絡協議会) 開催される(Web併催)

2025年7月19日(土)午前9時30分より、2025年度都道府県(診療)放射線技師会 地域委員会(全国地域連絡協議会)が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。本会議には、都道府県会長、地域理事、JART執行部役員が出席しました。会議の冒頭、上田会長より開会のあいさつ、続いて本年度、新たに就任された7地域の新任会長よりあいさつがありました。

初めに上田会長より、令和7(2025)年度事業について10項目の詳細な事業計画の説明がありました。またJART Vision 2040に関して、長期・中期目標と短期目標について2023年から現在までの経過報告がありました。主な項目として、「基礎講習会の無料化」「CBTの採用」「システム改修」「LINEによるプッシュ型広報」「技師籍登録初年度の会費無料化」「無料コンテンツの充実化とWeb化」「事業のスリム化と事務局DX化」「入会促進と退会抑制」などについて説明されました。

続いて富田副会長より、性腺鉛シールド廃止について説明があり、国際的な見解や動向に基づいて、関連放射線団体と共同認識を持って進めていること、本会としても廃止を推進する方針が示されました。

鈴木理事からは、学術大会の開催期間短縮(2日間への短縮化)について、事前に各都道府県から聴取した意見に基づいた資料を用いて説明がありました。おおむね賛成意見が多数を占める一方で、検討事項も複数挙がっており、2日間開催については理事会へ議題として提案し審議すること、検討事項は引き続き学術大会運営委員会で検討していくことが述べられました。

江端業務執行理事からは、ワクチン筋注講習会に関して、オンデマンドと実技講習会の開催に向けた詳細な説明があり

ました。第41回学術大会時にも実技講習会が3日間予定されており、今後は各県で、総会や勉強会での併催や地域学術大会での実施などについて説明がありました。また8月1日より正式リリースとなるオンデマンド講習の受講方法については、実際にJART情報システムの画面を用いながら説明が行われました。

その後、富田副会長より、DRLs 2025の公開報告と各項目における前回調査からの変更点について解説がありました。

また児玉副会長より、今般発生している診療放射線技師の不適切事例やその他の法令などに違反する行為が散発的に起きていることを受け、コンプライアンス意識の向上に向けて、倫理委員会より上田会長に答申書が提出されたことが報告されました。具体的な内容は、「コンプライアンス研修の実施」「学術大会・都道府県総会等での注意喚起」「ホームページで本会の倫理啓発に関する取り組み公表」「e-ラーニングを活用する取り組み」でした。

その他、JART組織体制について、都道府県技師会長および若手会員との懇談会企画、第41回日本診療放射線技師学術大会、告示研修、会費未納除籍者に対する債権回収、退会処理の申請方法の追加についての報告と説明が行われ、資料と共に共有されました。

園田理事からは、今後、地域理事会などで検討される提案事項について説明がありました。

最後に上田会長より、診療放射線技師の絶対数の減少に伴い、本会や都道府県(診療)放射線技師会の存続が危惧されるため、対応を検討する必要があること、そして入会促進の推進への協力が述べられ、本会議は終了しました。

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(手続きについて→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

2025年度 都道府県(診療)放射線技師会 新任会長会議 開催される (Web併催)

2025年7月19日(土)、2025年度の都道府県(診療)放射線技師会 新任会長会議がWeb形式で開催されました。会議には、JART執行部から上田克彦会長、富田博信、児玉直樹、江藤芳浩の3人の副会長、江端清和業務執行理事、川守田龍学術理事、園田優総務担当理事が出席しました。

本年度、新たに会長に就任された新任会長は、福島県の鈴木雅博会長、和歌山県の木戸義照会長、兵庫県の半部英敏会長、鳥取県の小山亮会長、徳島県の天野雅史会長、熊本県の田上真之介会長、鹿児島県の大迫俊一会長の7人です。それぞれの地域の課題や取り組みに関する前向きなご意見を頂きました。

会議は11時30分より開始され、出席者による自己紹介に続き、都道府県と日本診療放射線技師会との業務委託契約に関する説明、新任会長からのJARTへの要望ヒアリング、会誌掲載用の自己紹介原稿(10月号掲載)の依頼などが行われました。短時間ではありましたが、今後の連携に向けて有意義な意見交換の場となりました。

今後も日本診療放射線技師会では、都道府県技師会との連携を一層深め、診療放射線技師の職能向上と地域医療の質の向上に貢献してまいります。新任会長の皆さまのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第1回エックス線撮影WG ハンズオンセミナー 開催報告 (ハイブリッド開催)

エックス線撮影WG委員 安藤 英次

2025年6月28日(土)、京都府立医科大学看護学舎で「荷重撮影に利用できる補助具作成」をテーマに、第1回エックス線撮影WGハンズオンセミナーを現地とWebによるハイブリッド形式で開催致しました。

近年、超高齢社会の進展に伴い、医師から関節の変形や不安定性の評価を目的とした荷重位撮影のニーズが高まっています。そうした背景から、今回は遠方からの参加者も含め、現地受講者10人、Web受講者220人と、多くの方にご参加いただきました。

本セミナーでは、現地での補助具作成だけでなく、Web受講者にも事前に材料をご準備いただくことで、現地に足を運ばずとも視聴しながら補助具を作成できる形式を採用しました。

セミナーは、「立位足関節撮影」と「立位膝関節撮影」についての座学、ならびにそれらの荷重位撮影に用いる撮影補助具を実際に作成するハンズオンの二部構成で行われ、立位撮影の重要性や、明日からの撮影業務にすぐに生かせる内容が多く含まれていました。



昨年開催時と同様、今回も現地およびWebの双方から多数の質問が寄せられました。質問内容は、日頃の撮影業務に関する疑問や補助具の使用方法など多岐にわたり、参加者同士で共有・ディスカッションする貴重な機会となりました。

また会場では講師へ気軽に質問できる環境が整っており、会終了後も多くの質問が寄せられるなど、現地参加ならではの魅力を感じられる会となりました。

最後に、本セミナーにご参加いただいた皆さまをはじめ、会場の手配や当日の準備にご尽力いただいた京都府診療放射線技師会の皆さま、会場を提供いただきました京都府立医科大学、そしてセミナー開催にご協力いただいたJART関係スタッフの皆さまに、心より御礼申し上げます。

2025年度 災害支援認定診療放射線技師対象 フォローアップセミナー 開催報告 (Web開催)

災害支援認定診療放射線技師分科会 分科会長 中田 正明 (兵庫県災害医療センター／神戸赤十字病院)

2025年6月20日(金)午後7時から8時30分まで、主に災害支援認定診療放射線技師を対象としたフォローアップセミナーがオンラインで開催されました。

今回のセミナーは、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」での活動内容と今後の活動をテーマとし、2人の演者の先生に講演をしていただき、参加者の皆さんに実際の活動について共有し、課題についても意見交換することができました。今回は貴重な機会であることもあり、災害支援認定診療放射線技師以外の皆さんにも参加していただきました。

【講演1】

「能登半島地震での本会の対応について」

界外 忠之氏

(日本診療放射線技師会 理事／災害対策委員会 委員長)

界外氏は、日本診療放射線技師会 (以下、JART) 災害対策委員会委員長として、また被災地である中日本地域理事でもあるため、発災直後より平時からの広いつながりを活用して被災地の情報収集を開始されました。そして被災地の情報を石川県診療放射線技師会やJARTへ報告し、対応について検討しました。

実際の対応として、公立穴水総合病院への支援を実施しました。支援内容は、診療放射線技師8人を1月28日から2月10日までの期間(13泊14日間)派遣し、主に夜勤当直帯の業務支援を行い、被災地の診療放射線技師の業務負担軽減のサポートができました。

また災害により人的被害や家屋損壊などの被害を受けた会

員は、被災の程度に応じて会費が免除される被災者会費免除(3年間免除：1人、2年間免除：12人、1年間免除：27人)の対応をしました。

活動を経験して見えてきた課題は、災害支援認定診療放射線技師のカリキュラムに下肢静脈超音波検査の内容は重要ではなく、災害時に下肢静脈超音波検査のニーズがあった場合は、平時から下肢静脈超音波検査に従事している方をお願いすることが適切であるということでした。

また改めてJARTは職能団体であるため、被災した医療機関にJART会員が不在であっても、診療放射線技師が困っているのであれば必ず支援することを強く訴えておられました。

今後は、災害支援に参加してもらえる技師をさらに増やす必要があることから、災害支援登録技師制度の運用を開始するとともに、災害支援認定診療放射線技師の講習会をe-ラーニング形式として、より多くの方が支援に関われる環境を整えているところです。

【講演2】

「石川県庁調整本部および被災医療施設支援のオンライン活動報告」

江端 清和氏

(日本診療放射線技師会 業務執行理事)

江端氏からの報告は、界外氏が収集した情報を基に、1月11日より石川県庁の保健医療福祉調整本部へJARTのリエゾン役として活動を開始したところから、被災病院支援の一連の活動について行われました。

被災県庁の保健医療福祉調整本部に入ると、診療放射線技師の人的支援に関連したさまざまな情報が入ってきました。その内容は、医療機関の診療放射

線技師が疲弊しているため支援の必要があることや、医師会より避難所の診療所で撮影してほしいなどの情報でした。

1/ 1	16:10 発災
1/ 10	17:45 会長より派遣命令
1/ 11	11:30 石川県庁入り・可搬型撮影機材準備開始 中田分科会長と連絡つくもDMAT派遣中
1/ 12	穴水総合病院に応援技師の要否について問い合わせ
1/ 16	10:45 JMAT より避難所撮影依頼について相談・執行部に情報共有、傷害保険の約款確認 → 石川県技師会 副会長 (当時) に撮影協力人員の手配相談 ビブスの発送手配 → 宇出津病院、穴水病院の放射線技師の疲弊が話題に
1/ 19	石川県技師会を通じて改めて穴水病院放射線部の状況確認を依頼
1/ 20	撮影機材を各社石川営業所から役員施設に移動 → 休日夜間は出入り不能なため
1/ 22	JMAT より避難所撮影の無しを確認
1/ 23	石川県技師会を通じて改めて穴水病院放射線部に状況確認を依頼
1/ 24	JMAT より避難所撮影の無しを確認/穴水病院管理側より診療放射線技師の派遣要請
1/ 25	界外理事に病院支援技師の募集依頼
1/ 26	派遣技師日程調整完了 /DMAT活動本部の撤収日程調整開始
1/ 28	病院支援技師派遣開始
2/ 10	病院支援技師派遣終了

8名派遣	(応募28名)	うち施設了解	20名)
撮影件数	一般撮影	30件	14日間
	CT	39件	
	CD-R 作成	7件	

このような情報に対して、派遣の可否や詳細な支援内容・時期などを調査・準備しました。またJARTと装置メーカーとの協定に基づき、必要な可搬型の撮影装置などの手配も進めていきました。どの活動もスムーズには行かず困難でありました。被災医療機関との調整により病院支援開始は1月28日から行いました。

災害派遣者の募集については、被災医療機関の一般撮影装置・CT装置を取り扱うことができることを条件とし、スムーズに支援を開始するために近隣県からマッチングを行いました。また業務説明などの負担を軽減するため、「支援技師作業マニュアル」を作成し、各種装置の操作手順や撮影方法をまとめ、オンラインによる共有環境を整え、支援技師が事前に確認し、病院到着後すぐに活動できるようにしました。

今回経験したことを踏まえて、災害派遣される際の準備や考慮すべきことを話されました。今回の被災地は水道復旧に時間がかかったこともあり、厳しい生活環境の中での活動と

なり、特にトイレが使用できない場合の対策について説明がありました。また食事の際や衛生面についても、水が使えないことによる活動の困難さを話されました。

今後に向けて

- 災害支援認定技師制度の再検討
→ 災害支援登録技師制度の構築（e-ラーニング）
→ DMAT 隊員技師以外の災害支援登録技師の募集
- 派遣時の対応準備
→ 照射録（記録）、保険、費用の基準策定
→ 緊急時に対応する標準（ヒト・モノ）フローチャートの準備
- 医師会（JMAT）との事前連携調整
→ チーム医療推進協議会代表が上田会長のため、厚労・医師会との調整は大変スムーズであった
- 原子力災害に備えて
→ 避難地域時検査は発災自治体災害対策マニュアル
→ 被災医療機関への人的支援
→ 甲状腺簡易測定実技研修実施
→ 避難所での住民・自治体職員への放射線リスク対応講習

今回のセミナーでは、平日の夜にもかかわらず約120人の参加者の皆さんに聴講いただくことができました。これは、1年以上経過した災害であっても、貴重な現地での活動について知りたい方が多いという関心の高さを示すこととなりました。

今後も貴重な経験や情報を提供できるように活動していきたいと思います。

診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー 開催報告

栃木県

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 理事 高橋 良

2025年6月15日（日）午前9時から午後3時30分まで、栃木県総合文化センター第2会議室で、県内に就職した1年目の診療放射線技師を対象としたフレッシュャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは、医療従事者としての意識の向上と、現場で必要とされる基本的知識・態度の習得を目指し、技師会への

入会促進を目的として実施しました。本年度のセミナーには36人の参加があり、「エチケットとマナー」「医療コミュニケーション」「医療安全」「感染対策」「被ばく低減」「入会案内」に、栃木県独自の「お金と医療」を追加した7つのテーマについて講義が行われました。医療現場にふさわしい言動や立ち居振る舞いをはじめ、患者に合わせたコミュニケーション

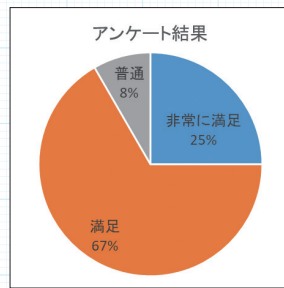
の重要性や信頼関係を築くための会話技術、臨床に潜むリスク、放射線低減の実践、診療報酬の基礎知識などについて知識を深めることができました。

全体を通して、参加者からは満足度の高いセミナーであったとの好意的な感想が多数寄せられました。本



セミナーでは、知識習得だけではなく自己紹介の場も設け、参加者同士の交流を深める貴重な機会になりました。そして技師会への理解や親近感を深める一助となりました。

今後も本セミナーを通じて、新たに仲間となる技師たちのスタートを力強く支援し、より魅力ある組織づくりに努めてまいります。



宮城県

公益社団法人宮城県放射線技師会 総務部長 菅 尚明

2025年7月5日(土)、仙台厚生病院の雨宮ホールで、2025年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーを開催しました。参加者は33人でした。講義は「技師会紹介」「医療安全」「臨床に役立つ解剖」「接遇」「感染対策」「医療被ばく」の6科目を行いました。

「医療安全」ではグループワークを行いました。日本医療機能評価機構が発行する「医療安全情報」の放射線業務に関わるインシデント事例を提示し、グループごとに背景要因を考え改善策を講じ、発表していただきました。グループのメンバーはほとんどの方が初対面でしたが、日常業務で遭遇するインシデント事例であったため、活発な意見交換が行われていました。

午後からの「接遇」では、参加者の緊張もほぐれ、笑顔でコミュニケーションの実技に取り組んでいました。働き始めて3カ月余りの参加者からは、「現場で実践できる内容で良かった」「グループワークで他施設の取り組みを知ることが



できた」など、セミナーに参加して良かったという声を頂きました。

梅雨とは思えないほどの暑さでしたが、体調を崩す方もなく、無事にセミナーを終了することができました。

今後も、より多くの新人診療放射線技師の方に参加してもらえるセミナーになるよう、取り組んでいきたいと思います。

島根県

一般社団法人島根県診療放射線技師会 常務理事 金山 秀和

2025年7月26日(土)、島根大学医学部附属病院で「2025年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催しました。当日は真夏の太陽が照り付ける中、9人の方々にご参加いただき、会場参集型で行いました。

セミナーでは、診療に対応できる新人診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の習得を目的に、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「医療安全」「胸部撮影」「気管支解剖」「感染対策」「医療被ばく低減」など、幅広い内容の講義が行われました。参加者は当初、緊張した面持ちでありましたが、講師の方々による経験談を交えた熱意ある講義を聴講することで、社会人および診療放射線技師としての自覚が芽生えていく様子をうかがうことができました。

本セミナーは、県内のフレッシュな診療放射線技師が顔を合わせる貴重な機会となりました。この場で得られた出会い

やご縁を大切にいただき、職場の垣根を超えた仲間として切磋琢磨し、今後の成長につなげていただければ幸いです。

最後に、受講者をはじめ、セミナーの開催に当たりご尽力いただきました講師の先生方に、心より感謝申し上げます。



告示研修 開催報告

長崎県

一般社団法人長崎県診療放射線技師会 地区担当理事(杵岐) 藤田 均

長崎県は離島がとて多い地域であり、離島の診療放射線技師全員が告示研修を本土で受講することは、とてもハードルが高いことです。そこで長崎県診療放射線技師会では本土開催に加えて、離島でも告示研修を開催することに重点を置きました。県内での離島開催は昨年度の対馬・五島に続き3カ所目です。長崎県診療放射線技師会は長崎県令和7年度事業基金の申請を行い、長崎県の協力の下、日本診療放射線技師会の許可を得て、2025年7月12日(土)・13日(日)の2日間の日程で、長崎県杵岐病院を会場に告示研修(実技)を開催しました。1日目の午後に動画視聴を行い、2日目の午前に実技研修を行うスケジュールです。長崎県・福岡県・広島県からの15人の受講者で行われました。

離島へは移動に時間を要します。1日目、開催責任者・ファシリテーターは当日の朝早い飛行機で来島し、午前中に実技研修の会場設営を行いました。そして午後の動画視聴を実施しました。2日目は受講者が奇数であったため、私は開催スタッフとして2日目の実技研修を受講者と一緒に参加させていただきました。少数の開催でしたので、特に、静脈路確保は繰り返しトライすることができました。また気軽に質問も



でき、充実した研修になりました。

開催責任者・ファシリテーターの皆さま、島外から参加していただいた受講者が杵岐に来島する際、非常に風が強い天候によりフェリーがかなり揺れました。また開催スタッフも帰りの飛行機が大幅に遅れるという状況もありました。大変な苦勞をお掛けしましたが、皆さまのご協力により開催できたことに感謝申し上げます。また今回は特例の開催になり、許可を頂いた日本診療放射線技師会、開催に尽力いただいた長崎県診療放射線技師会に心より感謝申し上げます。

鳥取県

一般社団法人鳥取県診療放射線技師会 教育理事 朝倉 顕一

鳥取県では2025年7月19日(土)、鳥取県立厚生病院で告示研修(実技)を開催しました。タスク・シフトが進展する中、業務拡大に必要な知識と技術、そして責任を再確認する機会となり、現場での実践に即した講義と実技研修を通じて、参加者は多くの学びを得ることができました。ご多忙の中、ご講演いただいた講師の皆さま、円滑な進行にご尽力いただいたファシリテーターの皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も、診療放射線技師の専門性を高める研修の継続に努めてまいります。



診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー、医療安全、感染対策、気管支解剖、胸部撮影基礎(都道府県により違いあり)など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定： 静岡 9月7日(日)

INFORMATION

都道府県（診療）放射線技師会会長および事務所一覧

技師会名	会長	郵便番号	住所	電話番号
一般社団法人北海道放射線技師会	富田 伸生	064-0823	札幌市中央区北三条西29-3-2	011-643-2713
公益社団法人青森県診療放射線技師会	佐藤 兼也	030-0803	青森市安方2-17-15-802 ライオンズマンション新町通	017-763-0931
一般社団法人岩手県診療放射線技師会	目時 毅	028-3603	紫波郡矢巾町西徳田5-20-70	019-698-2155
公益社団法人秋田県診療放射線技師会	川又 渉	010-1106	秋田市太平山谷字中山谷247-32	018-838-3231
公益社団法人宮城県放射線技師会	坂本 博	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-4-15	022-388-3777
一般社団法人山形県放射線技師会	鈴木 幸司	990-9585	山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部附属病院 放射線部内	023-628-5786
公益社団法人福島県診療放射線技師会	鈴木 雅博	963-0201	郡山市大槻町字原ノ町3-1	024-954-7595
一般社団法人新潟県診療放射線技師会	金沢 勉	950-0822	新潟市東区新岡山2-1-18	025-257-2255
一般社団法人栃木県診療放射線技師会	吉成 亀蔵	320-0032	宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館4F 404号室	028-625-7979
公益社団法人茨城県診療放射線技師会	沼尻 俊夫	310-0851	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5F	029-243-6747
一般社団法人群馬県診療放射線技師会	五十嵐 博	371-0022	前橋市千代田町1-7-4 群馬メディカルセンター本館5F	080-8709-5978 (技師会携帯)
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会	富田 博信	331-0812	さいたま市北区宮原町2-51-39	048-664-2728
一般社団法人千葉県診療放射線技師会	石田 有治	260-0843	千葉市中央区末広3-24-9 セザール蘇我102	043-264-9101
公益社団法人東京都診療放射線技師会	江田 哲男	116-0013	荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号室	03-3806-7724
公益社団法人神奈川県放射線技師会	田島 隆人	231-0033	横浜市中区長者町4-9-8 ストーク伊勢佐木一番館501	045-681-7573
一般社団法人山梨県診療放射線技師会	土橋 永	400-0035	甲府市飯田2-19-7	055-244-1111 (会長勤務先)
一般社団法人長野県診療放射線技師会	柳澤 直樹	390-0847	松本市笹部1-3-7 GBオフィス102号	0263-87-7778
公益社団法人石川県診療放射線技師会	石黒 充	920-8621	金沢市小坂町中83 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 放射線部内	076-252-2101
公益社団法人富山県診療放射線技師会	澤木 福光	930-0115	富山市茶屋町225-2	0763-32-3320 (会長勤務先)
公益社団法人福井県診療放射線技師会	村中 良之	910-0851	福井市米松1-16-31 NTビル2F	0776-57-0696
公益社団法人静岡県放射線技師会	高橋 真	420-0064	静岡市葵区本通1-3-5 フェリス本通202	054-251-5954
公益社団法人愛知県診療放射線技師会	水口 仁	467-0807	名古屋瑞穂区駒場町5-12-5 ハイライズ瑞穂2-C	052-851-5571
公益社団法人岐阜県診療放射線技師会	加藤 秀記	500-8384	岐阜市数南3-5-23-503	058-272-0082 (TEL/FAX)
一般社団法人三重県診療放射線技師会	武藤 裕衣	514-0032	津市中央2-4 三重ビル502号	059-225-1491
公益社団法人滋賀県診療放射線技師会	武田 宣明	520-8511	大津市長等1-1-35 大津赤十字病院 放射線技術部内	077-522-4131 (内線2203)
公益社団法人京都府診療放射線技師会	久保田 裕一	604-8472	京都市中京区西ノ京壺井町88-1 二条プラザ1F	075-802-0082
公益社団法人奈良県診療放射線技師会	小林 勝宏	634-0076	橿原市兵部町2-9 フレガビル4F	0744-24-6270
一般社団法人和歌山県診療放射線技師会	木戸 義照	640-8505	和歌山市木ノ本93-1 和歌山労災病院 中央放射線部内	080-1573-1941
公益社団法人大阪府診療放射線技師会	藤田 秀樹	543-0018	大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館5F	06-6765-0301
公益社団法人兵庫県診療放射線技師会	半部 英敏	650-0022	神戸市中央区元町通5-2-3-1011	078-351-5172
公益社団法人岡山県診療放射線技師会	高尾 渉	700-0867	岡山市北区岡町16-10-201	086-235-1313
公益社団法人広島県診療放射線技師会	木口 雅夫	730-0853	広島市中区堺町2-4-26 ラフィネ堺町204	082-208-1434
一般社団法人鳥取県診療放射線技師会	小山 亮	680-0901	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院 中央放射線室内	0857-26-2271
一般社団法人島根県診療放射線技師会	古川 春美	690-0332	松江市鹿島町佐陀本郷133-2	0852-33-7251
一般社団法人山口県診療放射線技師会	三輪 光良	753-0814	山口市吉敷下東3-1-1 山口県総合保健会館3F	083-923-1120
一般社団法人徳島県診療放射線技師会	天野 雅史	770-0043	徳島市蔵本町3-20-15 たびにっき徳島ツアーセンター2F	088-632-0005
一般社団法人香川県診療放射線技師会	門田 敏秀	760-0080	高松市木太町2367-1	087-862-2626
公益社団法人愛媛県診療放射線技師会	大元 謙二	790-0825	松山市道後樋又8-29 メゾン・ド・ルー道後樋又403号	089-989-4941
公益社団法人大分県診療放射線技師会	中村 伸治	780-0850	高知市丸の内1-7-45 高知市総合あんしんセンター2F	088-872-4585
公益社団法人福岡県診療放射線技師会	塩谷 正貴	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡内	092-631-1184
一般社団法人佐賀県放射線技師会	北村 茂利	849-8501	佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部附属病院 放射線部	0952-34-3177
一般社団法人長崎県診療放射線技師会	岩田 浩一	852-8501	長崎市坂本1-7-1 長崎大学病院 医療技術部 放射線部門	095-819-7435
公益社団法人大分県放射線技師会	吉田 幸人	870-0023	大分市長浜町2-7-22 株式会社マイダスコミュニケーション内	097-574-7625
一般社団法人熊本県放射線技師会	田上 真之介	860-8556	熊本市中央区本庄1-1-1 熊本大学病院 中央放射線部	096-344-2111
一般社団法人宮崎県放射線技師会	蕪 俊二	880-0902	宮崎市大淀3-5-18 南宮崎駅前ビル2F	0985-51-5860 (留守番電話対応)
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会	大迫 俊一	892-0861	鹿児島市東坂元4-28-11	099-248-0028
一般社団法人沖縄県放射線技師会	久場 匡	901-2104	浦添市当山2-5-11-103	098-942-1375

※ の部分につきましては、昨年度より変更となっています。

(2025.7.31 現在)



第41回 The 41st Japan Conference of Radiological Technologists
日本診療放射線技師学術大会

放射線技術の
イノベーション

〜期待される診療放射線技師の
役割に応えよう〜



2025.
9/12(金)▶14(日)

会場 福井駅前
AOSSA、ハピリン他

[現地+オンデマンド配信]



<https://www.kwcs.jp/jcrt41/>

会長 上田 克彦 (公益社団法人
日本診療放射線技師会 会長)

大会長 村中 良之 (公益社団法人
福井県診療放射線技師会 会長)

主催: 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催: 公益社団法人 福井県診療放射線技師会

後援: 厚生労働省(予定)、公益社団法人 日本放射線技術学会、
福井県、福井市

大会事務局 公益社団法人福井県診療放射線技師会
〒910-0851 福井県福井市米松1丁目16-31 NTビル2階
E-mail: 41jcrt@gmail.com

鵜飼から学ぶ、技とこころ

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

今年の夏、岐阜の長良川で鵜飼を見てきました。1300年続く伝統漁法というだけで「すごそう」と思っていたのですが、実際に見てみると…これがまあ、すごい。夜の川にかがり火が揺れ、鵜匠が「ホウホウ」と声を掛けながら手綱を操る様子は、幻想的でありつつ、どこかユーモラスでもありました。

何せ、あの鵜たち、思いの外、自由気ままなんです。水の中をスイスイ泳ぎ回るかと思えば、急に別方向に行ったり。そんな鵜たちを鵜匠は絶妙なタイミングで手綱を引いたり緩めたりしながら、うま〜く操っているんですね。「言うことを聞かせる」というより、「お互いの呼吸を合わせている」ような関係に見えました。

この光景、なんだか私たちの仕事にも通じるところがあるなと感じました。患者さんとのコミュニケーション、チーム医療での連携、装置の癖との付き合い方(?)…全て、マニュアルだけじゃ立ち行かない“さじ加減”がある。鵜匠の技って、そんな“間”の妙を教えてくれるようでした。

そして鵜匠たちも一人前になるまでには長い修行が必要とのこと。代々受け継がれてきた技と感覚を、少しずつ身に付けていくんだそうです。これもまた、どこかわれわれの「技術」と似ていると感じました。急にはうまくなれない。でも続けていけば、ある日ふと“分かる瞬間”が来る。そんな積み重ねが、私たちの「技」を育ててくれます。

伝統って、固いものじゃなくて、実は柔らかくて、しなやかで、ちょっと笑えるくらい人間くさい。鵜飼を眺めながら、そんなことを思った夏の夜でした。(文責：柳澤 直樹)



9月・10月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 認定資格試験：全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施 (テストセンター一覧：<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>)
2026年1月18日(日)まで実施
- ワクチン筋注行為に関するオンデマンド講習および実技講習会：
 - 【オンデマンド講習】 JART情報システム内のメニュー「ワクチン筋注に関する講習会」からお申し込みください(2025年7月18日(金)～)。
 - 【実技講習会】 第41回日本診療放射線技師学術大会の実技講習会会場で受け付け、開催 ※オンデマンド講習を全て修了した方が対象
2025年 9月12日(金)～14日(日)
- 画像等手術支援分科会3Dハンスオンスキルアップセミナー(初級編)：東京 2025年 9月28日(日)
- IGRT Web セミナー：Web開催 2025年 9月28日(日)
- 放射線取扱主任者定期講習：東京 2025年10月17日(金)

告示研修(実技研修)／業務拡大に伴う統一講習会：

本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- 認定資格の取得を目指す在宅講習 2025年12月19日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から各認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
※本講習会を修了しませんと、認定資格試験のお申し込みはできません。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅) 2026年1月25日(日)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2026年3月1日(日)まで何度でも視聴いただけます。
- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー(在宅)：本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

※「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ」は7ページに掲載しています。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。